

金属3Dプリンタ活用セミナー3

－材料・装置・造形から捉える金属積層造形－

浜松工業技術支援センター
浜松センター協議会
静岡県積層造形技術協議会

欧米では金属3Dプリンタの導入が進み、航空・宇宙・医療分野における部品製造が拡大し、輸送機器関連製品の量産化も注目されています。過去のセミナーアンケートから、企業での活用状況や事例、金属3Dプリンタの技術動向などについて興味の高いことがわかりました。今回のセミナーでは材料開発、装置メーカー、受託造形企業として、非常に優れた実績をお持ちの皆様に、講演を行っていただきます。金属積層造形の知識を深め、金属積層造形に取り組んでいただければと思います。御参加いただけるようお願いいたします。

- 1 日時 令和5年5月30日(火) 13:15～16:10
- 2 会場 浜松工業技術支援センター大研修室(浜松市北区新都田1-3-3)
- 3 内容
 - ・講演1 (13:20～14:10) 50分「高機能金属粉末と3D積層造形」
講師 兵庫県立大学 金属新素材研究センター 副センター長 柳谷 彰彦 氏
概要 金属3Dプリンタにおいては、金型、機械部品、航空機、生体材料など幅広い分野での実用化に向けて、開発が行われています。本講演では、金属3Dプリンタに用いられている金属粉末について適用事例を紹介いたします。
 - ・講演2 (14:10～14:40) 30分「AMの現状とハイブリッド金属3Dプリンタの応用」
講師 株式会社松浦機械製作所 技術本部 開発研究
AMユーザサポート&マーケットリサーチ担当 シニアチーフ 加藤 直人 氏
概要 2002年に国内初の金属3Dプリンタ、世界初のハイブリッド金属3Dプリンタを発表して20年が経ち、様々なユーザー様から成功事例が発信されております。本講演では、AMの状況、機器の概要、事例についてご案内を致します。
 - ・講演3 (14:55～15:25) 30分「AM最適化設計(DfAM)～造形までの事例」
講師 東金属産業株式会社 AM部 部長 大隈 伸也 氏
概要 国内AM市場は、AMプロセスを理解し、AMプロセスを活かす部品設計が出来ていないことが、市場拡大の妨げになり、課題となっております。今回は、お客様の事例をもとに、AMプロセス活用のヒントをご紹介させていただきます。
 - ・講演4 (15:25～15:40) 15分「浜松工業技術支援センターの金属積層造形への取り組み」
概要 当センターでは、金属3Dプリンタ導入後、技術相談、機器使用に対応してきました。これまでの取り組み内容やR5年度新成長戦略研究事業について紹介します。
 - ・見学 (15:40～16:10) ①造形品展示、②金属3Dプリンタ(R4年度当センター導入機器)
※お願い 発表内容によっては、配布資料を御用意できない講演がありますので、御理解ください。
- 4 定員 80名
- 5 申込 ①会社名、②所属・氏名、③メールアドレス、④電話番号を記入いただき、メール
(hk-zaiyo@pref.shizuoka.lg.jp) または FAX(053-428-4160) までお申込み下さい。
- 6 締切 令和5年5月24日(水) (定員に達し次第、終了とさせていただきます)
- 7 問い合わせ先 浜松工業技術支援センター tel.053-428-4156 材料科 木野

金属3Dプリンタ活用セミナー3 (令和5年5月30日) 申込書 ファックス 053-428-4160

会社名				電話	
所属		氏名		メールアドレス	
所属		氏名		メールアドレス	

※送付いただいた個人情報、主催者からの連絡や情報提供・事務処理に利用します。

※講師には参加者名簿を提出させていただきます。